

鷹島海底遺跡発掘調査 現地研修会 開催要項

- 1 開催日 令和8年10月17日(土)～18日(日)
※2日間のうち希望日のみの受講も可
※上記日程以外でも、潜水調査/船上視察研修の受入が可能な場合があります。個別にご相談ください。
- 2 場所 松浦市立埋蔵文化財センター(松浦市鷹島町神崎免146番地)
松浦市立鷹島公民館 (//)
鷹島海底遺跡 (同町神崎免地先)
*殿ノ浦港から出航予定
- 3 テーマ 「水中遺跡の調査手法と活用の可能性について」
- 4 趣旨 地方公共団体等による自立的な水中遺跡保護が可能となる環境を整えるため、水中遺跡調査の先進地である鷹島海底遺跡において、水中遺跡発掘調査の技術と方法等に関する理解を促すとともに、令和7年度に登録記念物として東奥武沖遺跡が登録された久米島町の事例から、登録記念物制度とその後の活用について学ぶ。
- 5 日程 10月17日(土)<1日目>
【午前】
9:00～ 松浦市立埋蔵文化財センター施設見学
10:00～ 特別講義(座学研修) ※2コマ実施予定

【午後】
13:15～ 2コースに分かれて現場研修
Aコース 潜水調査研修コース (潜水経験等参加資格あり)
Bコース 船上視察研修コース (自治体等専門職員であれば参加可)
- 10月18日(日)<2日目>
希望に応じて、Aコース潜水調査研修、
Bコース船上視察研修 を実施
- ※両コースとも、10月17日午後、18日午前・午後の最大3回乗船可能
※松浦市立埋蔵文化財センターの追加見学可
※乗船による現場研修のみ参加の場合、調査船の出港時間(午前8時30分又は午後1時頃(予定))までに殿ノ浦港集合
※上記日程以外で潜水・乗船研修を希望される場合は、主催者へ要相談
- 6 内容 (1)水中遺跡調査に係る特別講義(各50分程度)
【講師】
國學院大學 研究開発推進機構 特別招聘教授 池田榮史 氏
題「(仮)鷹島海底遺跡の発掘調査状況について」
久米島博物館 主任学芸員 砂川暁洸 氏
題「(仮)東奥武沖遺跡の登録記念物登録と活用」
(2)現場研修内容(案)※Aコース(潜水)・Bコース(船上)共通
①調査計画
・調査の目的、工程、運営体制、調査手法の研修
・調査に関する委託業務の仕様の研修
・関係者と事前に行うべき調整事項の確認

②安全管理

- ・調査実施にあたっての安全管理研修
- ・調査体制や調査の中止判断基準の研修

③調査に使用する機材

- ・調査に使用する機材の機能・用途の研修
- ・船舶使用に係る関係法令の研修

④調査の運営

- ・委託先ダイバーとの連携・進捗管理状況の研修
- ・調査の記録方法に係る研修

- 7 費用 Aコース潜水調査研修:10,000円
Bコース船上視察研修: 5,000円
※10月17日(土)の午前中のみ参加については無料です。
※潜水・乗船回数に関わらず費用は一律となります。
※現地までの移動旅費及び滞在費・食事代等については参加者のご負担をお願いします。
※17日(土)・18日(日)以外に潜水調査・船上視察を希望される場合は、
Aコース:10,000円/1日
Bコース: 5,000円/1日 のご負担をお願いします。
- 8 対象 自治体の専門職員等
- 9 申込 別紙申込書をメールにて送付ください。【先着順受付】
<申込期限> 令和8年8月28日(金)
<申込先>松浦市教育委員会事務局 文化財課 梶村、松永
E-mail:bunkazai@city.matsuura.lg.jp
- 10 備考 潜水調査研修については、資格(潜水土免許の有無・ダイビング認定講習の受講状況)、潜水経験等を確認した後に、内容を決定いたします。また、潜水機材の準備等については、別途調整いたします。
- 11 その他 ①研修記録としての写真撮影等は可能だが、外部へ公開する際は主催者の許可を得た上で行うこと。
②本研修で得た情報の取り扱いについて、十分に注意すること。
- 12 問合せ先 松浦市教育委員会事務局 文化財課 梶村、松永、早田
〒859-4598 長崎県松浦市志佐町里免 365
TEL:0956-72-1111(内線 356)/FAX:0956-72-1115
E-mail:bunkazai@city.matsuura.lg.jp